

〔 8. 平成16年度特別支援教育コーディネーター 指導者養成研修について

国立特殊教育総合研究所で行う平成16年度実施の特別支援教育コーディネーター指導者養成研修については、研修に関わる国立特殊教育総合研究所の役割、特別支援教育コーディネーター養成研修についての調査研究、特別支援教育コーディネーターの役割と資質・技能の考え方を考慮して、次のような考え方を基本方針として、研修プログラムを検討した。

1. 各自治体における特別支援教育コーディネーター養成研修を企画・運営を担当する者を対象に、企画力・運営力の向上を図り、その充実に資する内容で行う。
2. 特別支援教育コーディネーターの役割を踏まえ、必要な資質・技能の中で、連絡・調整に関わる資質の向上を図る内容を重点に行う。
3. 研修プログラム全体を通して、少人数グループを編成し、演習、協議、グループでの活動を行い、組織、チームで問題に取り組み解決に導くための技法の理解と技能の向上を図る。
4. 受講者がそれぞれの自治体で実施した特別支援教育コーディネーター養成研修の実施状況を分析し、成果と課題を整理し、今後の行う養成研修のプログラム案を作成する内容を研修の課題とする。

これまで、養成研修推進研究グループでは、特別支援教育コーディネーターの連絡・調整機能に関わる研修内容について、所内でのファシリテーション研修の実施、特別支援教育コーディネーター研修の研修課題に関わる研究協議を実施する等、研究開発を行ってきた。

平成16年度実施の特別支援教育コーディネーター指導者養成研修は、こうした取り組みを経て、企画・実施するものである。

平成１６年度特別支援教育コーディネーター指導者養成研修実施要項

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

１ 目 的

障害のある子どもの教育に対応するため、各小・中学校、盲・聾・養護学校における校内外の連絡調整等を担当する特別支援教育コーディネーターを位置づけることが提言されている（「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」）。この点をふまえ、各都道府県における特別支援教育コーディネーターの養成・研修にあたる者の企画・立案力の向上を図ることを目的とする。

２ 期 間

平成１６年４月１９日（月）から４月２３日（金）までとする。

３ 会 場

独立行政法人国立特殊教育総合研究所

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比５－１－１ 電話 ０４６－８４８－４１２１（代表）

４ 研修内容

本研修は、各自治体における特別支援教育コーディネーター研修の企画・立案に必要な内容について扱う。

受講者は各自持ち寄った自治体の研修プログラムを分析し合い、最終的には今後実施する研修プログラム案をチームで作成する。その過程では、コーディネーターの役割でもあるチームでの問題解決についても演習を通して体験する。

５ 研修員の推薦等

(１) 研修員の参加資格

教育委員会及び特殊教育センター等の指導主事又は特別支援教育コーディネーター指導者の候補者で研修の企画・運営に当たる者。

受講者には、研修を進めるための題材として、各自治体で小・中学校及び盲・聾・養護学校の特別支援教育コーディネーターが実践の中で実際に抱える課題や問題点について、その具体的な例を事例報告として求めることとする。

(２) 募集人員

研修員の募集人員は、１００名とする。

(３) 研修員の推薦手続

ア 次の者を推薦者とする。

当該都道府県又は当該指定都市の教育委員会教育長とする。

イ 推薦者は、候補者を選定し、別紙様式（裏面）により独立行政法人国立特殊教育総合研究所の理事長（以下「理事長」という。）に推薦する。

ウ 推薦期限は、平成１６年２月２７日（金）とする。

(４) 研修員の決定

理事長は、推薦のあった者の中から研修員を決定し、その結果を推薦者に通知する。

６ 研修の中止等

推薦者は、研修の開催に先だって研修を取り止める場合又は研修期間中に研修を中止する場合は、その理由を付した書面を速やかに理事長に届け出て承認を得るものとする

７ 修了証書の授与

所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

８ 宿泊施設の利用

研修員は、全員研究所の宿泊施設に宿泊するものとする。

９ 研修期間中に要する経費

受講料は徴収しないが、宿泊に伴う経費及び別途必要な経費を要する。

① 光熱水料等 ２００円（１泊１日当たり）

② 寝 具 代 ４，０００円程度

③ 宿泊室退去に伴う特別清掃費 ５，０００円程度
（バスクリーニング、バス・トイレ消毒等）

④ 懇 親 会 費 ２，５００円程度

⑤ 食 費 当研究所食堂の定食料金
朝食３６０円程度、昼食４６０円程度、夕食６００円程度

１０ この要項のほか、本研修に関し必要な事項は、別に定める。

平成１６年度 特別支援コーディネーター指導者養成研修 講義内容（案）

講 義 題 目 等	講師氏名（所属・職名）	講 義 内 容
１．講義・演習・実践報告		
講義 特別支援教育コーディネーター概論	（外部講師）	校内や地域での支援体制づくり、特別支援教育コーディネーターに期待される役割や機能、資質・スキル等について概観する。
講義 特別支援教育コーディネーター養成研修実施状況調査のまとめ	国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ	特別支援教育コーディネーター養成研修実施状況調査をもとに、特別支援教育コーディネーター養成研修のあり方について検討する。
講義 事例研究会議のすすめ方 1	国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ	特別支援教育コーディネーターに求められる事例研究会議の効果的なすすめ方について講義する。
演習 組織・チームでの問題解決	国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ	特別支援教育コーディネーターに求められる組織・チームでの問題解決の基本的な考え方、必要なスキルの概要を解説しつつ、組織・チームでの問題解決スキルを身につけるための研修の実践を演習により体験的に学ぶ。
演習 事例研究会議のすすめ方 2	国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ	特別支援教育コーディネーターに求められる事例研究会議の効果的なすすめ方について、演習を通じて検討する。
実践報告 特別支援教育コーディネーターの実際と課題	小学校 教諭（外部講師） 養護学校教諭（外部講師）	特別支援教育コーディネーターの実際と課題について、実践報告をもとに検討する。
実践報告 特別支援教育コーディネーター養成研修の実際 2	特殊教育センター指導主事 特殊教育センター指導主事（受講者）	特別支援教育コーディネーター養成研修の概要、成果と課題、工夫・改善点について、参加者による実践報告をもとに検討する。

講 義 題 目 等	内 容
２．協 議	
班別協議 特別支援教育コーディネーター養成研修の実際 1	班編成をし、モデル事業地域等での特別支援教育コーディネーター養成に関する情報交換をする。
班別協議 特別支援教育コーディネーター養成研修の実際 3	各班でモデル事業地域等での特別支援教育コーディネーター養成に関する成果課題・改善点について整理し、ポスターを作成する。
班別協議・全体協議 特別支援教育コーディネーター養成研修プログラム案の作成、発表・協議	各班で特別支援教育コーディネーター養成研修プログラム案を作成し、その後、ポスター発表形式で発表、協議を行う。助言者からの講評、課題提起を受ける。 （指導助言：外部講師）

平成16年度 特別支援教育コーディネーター指導者養成研修 日程（案）

	10:00		11:00		12:15		13:15		16:15	
4月19日 (月)	受付	開講式	オリエンテーション (研修情報課)	講義 特別支援教育コーディネーター概論 (外部講師)	休憩	講義 特別支援教育コーディネーター養成研修実施状況調査のまとめ 国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ	班別協議 特別支援教育コーディネーター養成研修の実際1			
4月20日 (火)	実践報告 特別支援教育コーディネーターの実際と課題 小学校 教諭 養護学校 教諭 (外部講師)			実践報告 特別支援教育コーディネーター養成研修の実際2 教育センター指導主事 教育センター指導主事 (受講者)		休憩	班別協議 特別支援教育コーディネーター養成研修の実際3 国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ			
4月21日 (水)	演習				休憩	演習				
	演習 組織・チームでの問題解決 国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ									
4月22日 (木)			演習		休憩	演習				
	講義 事例研究会議のすすめ方1 国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ		演習 事例研究会議のすすめ方2 国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ							
4月23日 (金)	班別協議 特別支援教育コーディネーター研修プログラム案の作成 国立特殊教育総合研究所特別支援教育コーディネーター養成研修推進研究グループ				休憩	全体協議 特別支援教育コーディネーター研修プログラム案の発表・協議 指導助言 (外部講師)		修了式		